
平凡なる・・・

ズラえもん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平凡なる・・・

【Nコード】

N7464G

【作者名】

ズラえもん

【あらすじ】

いつの間にか忘れていた笑い・・・毎日の暮らしの中に隠れて見落しがちな平凡であるが故の幸せ！普段は当たり前前すぎて見えな
い小さな幸せを見つけた瞬間、主人公の心に広がった癒しと言う名
の世界。

今朝も彼は、瞳の奥で哀しそうな光を放ちながら、じっとこっちを見つめている。
いつもそうだ！

彼は、私に何かを語りかけるでもなく、時には哀れみを含み、時には蔑むような視線を投げかけてくる。

もう長い間彼の笑った顔を見たことがない！だけど、そんな彼も数年前まではよく笑っていた・・・テレビで見たコメディアンの真似をしたり、つまらないギャグを考えては一人で笑い転げたりして。

冗談は、決して上手いほうじゃなかったけど、彼の笑い声はみんなを陽気にさせた。今の彼からは想像もつかないほど、とても陽気な奴だった。

「いったいどうしたんだ？ 何があつたんだ？」

苛立ちを隠せない私の問いかけにも、彼は相変わらず無表情のまま、ただ黙って私を見ている。何が彼を変えてしまったんだろう？
いくら考えても、どんなに語りかけても、おそらく彼自身でさえ、はっきりとした答えにはたどり着けやしないだろう。

「今の世の中、確かにつまらないことだらけだ、だけどそんな顔をしてたりますます暗くなるだけだろう？」

私は彼の目を見つめ、諭すようにつぶやいた。

「・・・・・・・・」

彼からの答えは返ってこない！ 私はあきらめたように大きなため息をつき、壁にかけてあった時計を見た。時刻は午前8時を回っている。そろそろ会社に出かける時間だ。

遠くのほうで子供たちを学校へ送り出す女房の声が聞こえる。

小学4年生の娘が母親に向かって、なにやらしきりに怒っているようだ！

「だから、傘はいらないよ!!」

そうなると母親も黙ってはいない、朝の忙しい時間がさらに忙しくなる・・・・

「でも天気予報では降るらしいから・・・・」

「今日は給食のエプロンや体操着があつて荷物が多すぎるからいらない!!」

「もう・・・・後で濡れて風邪ひいても母さん知らんからね!!」

母と子の争う声が、私にはなぜか心地よく聞こえた。

「いってきまーす!!」

元気な声を残し、娘が出かけたようだ。妻の足音がこちらに向かつて近づいてくる・・・・妻は私がまだ家にいると言つことに驚いたのか、大きく眼を見開き怒鳴るように言った。

「あんた！ 何やってんの？ さっさとしないと時間がないよ！」

どうやら、娘へ向けられていた妻の怒りが私に向けられたようだ。そんな妻の飾らないごく自然な言葉に、私は思わず苦笑いしていた。

彼も笑っていた・・・洗面台の鏡の中で！

私は彼に語りかけた。

「そうだ！ そうなんだ・・・それでいいんだよ！ なにも無理して笑わなくても、君には自然に顔をほころばせてくれる家族がいるじゃないか！」

私は玄関のドアを開けると、ベランダで洗濯物を干す妻を見上げ言った。

「行ってくるよ。」

妻からの無愛想な返事が返ってくる！

「急がないと時間がないよ。」

私は車に乗り込んだ。こうしてまた、私の平凡な一日が始まる！

・・・おわり・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7464g/>

平凡なる・・・

2010年11月1日18時00分発行